

クローズアップ マイタウンJOTO

城東消防署 (中央3-4-20)

# 防ぐ 救う 守る

城東消防署の職員は総勢129名。火災の予防、消火や人命救助、救急業務などを通して日々区民の安全を守っています。日頃は建物の立入検査や消防訓練の指導を通じ火災予防に努め、災害時には現場にいち早く駆けつけ、被害を最小限にとどめます。今回は、新しく生まれ変わる城東消防署を訪ね、日頃の訓練や仕事にける想いを伺いました。

## 迅速に出場

119番通報を大阪市消防局指令情報センターが受け、出場指令が出されると隊員たちが出場します。

隊員は、いつ指令が出ても対応できるように、食事やトイレにいるときさえ、常に出場できる準備をしています。

119番通報をするときは、落ちついて火災やケガ、病人の状況を詳しく伝えてください。発生場所の住所が分からない場合は、大きな建物や交差点の名称等をお知らせください。

## 現場では一丸となって

火災現場へ向かうのは、「消火隊」、「救助隊」、「はしご隊」、「救急隊」、「指揮隊」、それぞれの消防車両に乗って一斉に出場します。消火隊やはしご隊が消火活動を行うと同時に、救助隊は人命救助を行い、救急隊が負傷者等の応急

処置を行い、病院に搬送します。

また、指揮隊は各隊の活動状況や災害情報を集め作戦指揮をとり、被害を最小限にいとめます。

## 防ぐ 火災ゼロをめざして

消防署には、火災ゼロをめざす「予防担当」という部署があります。区民まつり等で消火器の使い方を指導するほか、各地域で防災訓練を行い、区民の防災意識の向上を図っています。

また、建物の避難経路の確保や消火器、スプリンクラー等の指導や検査も行っています。

## 救う 過酷な訓練が人とまを救う

火災予防に努めていますが、それでも火災は発生しています。現場に出場する隊は厳しい訓練に耐えて火災に備えています。

「放水はじめ!」。大きく通る声が訓練



▲常に出場できる準備を整えている各車両

棟に響きます。指揮者の号令に従い、高層建物を想定した訓練棟へ勢いよく放水!一方では、高層階からの人命救助に階段を素早く駆け上がる隊員たち。その力強く、無駄のない動きは圧巻です。

消防隊員に、日々の訓練は欠かせません。例えば、低所に落下した人をロープと担架を使って助ける「引揚救助訓練」、火災の煙で視界が遮られる現場を想定し逃げ遅れた人を救出する濃煙内での訓練などさまざまです。

また、一度火災現場に出場すると、火を消すまで休まず活動します。消火隊の場合、装備だけで約20キロ、ホース1本約7キロ、その状態で階段を駆け上がらなければならないこともあります。そのような状況のなか、的確に任務をはたすには、体力、判断力、精神力が必要です。ロープを登ったり、「体育訓練室」で筋トレをして体を鍛えています。

現場での判断力・精神力を磨くため、



▲毎朝の車両・装備の点検

各隊が連携した火災現場さながらの訓練も行われています。はしご隊は、高所から消火をするほか、はしごを架け、逃げ遅れた人を助けます。同時に、救助隊は消火隊と連携して現場に入り、消火隊の放水を背に、救助隊が濃煙のなか逃げ遅れた人を救い出します。

## 守る 新しい消防署は強力な防災拠点に

今年3月末に新しく消防署が生まれ変わる予定です。庁舎が耐震強化さ



▲大規模災害時の応急救護所を想定した訓練

れ、自家発電設備の充実により3日間も停電対策ができるようになり、防災拠点としての機能がパワーアップします。

また、女性待機室が設置され、女性消防吏員の災害現場への出場が可能となりました。訓練施設は、より実践的な訓練が可能になり、より一層の防災力向上が期待されます。

『防ぐ、救う、守る』城東消防署員はこれらの業務、訓練、施設等を活用して私たち区民の安全を見守ってくれています。

## 春の火災予防運動

3月1日~3月7日に春の火災予防運動を実施します。皆さまもこの機会に住宅用火災警報器の設置及び点検等を行い、火災ゼロを目指しましょう!

## 隊員インタビュー

特別救助隊(隊員) 鬼塚 琢也さん

こどもの頃、近所で火事があり、中から出てきた消防隊員を見てから消防隊員になるのが夢でした。助けを求めた人を救出し、家族から「ありがとう」と言われたときは心から嬉しいです。区民のみなさんあっての仕事、その気持ちを忘れずに日々の業務に取り組んでいます。



消火隊(隊員) 島村 豪さん

燃え盛る炎、他の人が逃げていく危険な現場でも臆することなく入っていき、これ以上、炎が広がらないように全力を尽くす。その結果、延焼させることなく最小限に炎をおさえ、中にいる人を救出できたとき、安堵感とともに「この仕事をしてよかったな」と感じます。



はしご隊(隊長) 片岡 栄次さん

隊長として、隊員を育てる立場です。災害現場でケガをしないよう、訓練では厳しく指導しています。特に若い隊員には自分で考えて行動ができるようになってほしいです。非番日は隊員みんなで城北川をランニングし、身体を鍛えながら、風水害時の救助に備え川の流を勉強しています。



## 東日本大震災から7年、津波から身を守りましょう!

地震が起きて揺れがおさまったら火の元を切り、テレビやラジオなどで情報収集をしましょう!

~津波から身を守るための行動~

- 地震の揺れの程度で自己判断しない。
- テレビやラジオをつけて、正確な情報を得る。
- 避難に車は使用しない。
- 丈夫な建物の3階以上に避難する。
- 海岸や堤防に近づかない。

問合せ/城東消防署 電話6931-0119 内線6931-0072

